

安全・安定輸送の確保を要請した

新潟県と運輸局へ申し入れ



NO. 940
 発行
 2018年
 4月4日
 国鉄労働組合
 新潟地方本部
 発行責任者
 加藤 秀夫
 編集責任者
 教 宣 部



要求事項

① 1月11日の信越線列車立往生について、JR東日本新潟支社から検証内容と対策について、どのような報告を受けておられるのでしょうか。

今回の事象を踏まえ、JR東日本に再発防止を強く申し入れること。

② その後も豪雪による運休が繰り返されましたが、通勤・通学の影響と対策はどのように実施されたのでしょうか。

通勤・通学列車の運行が確保されるようJR東日本に強く申し入れること。

③ 雪害に対応できるJR・パートナー会社の十分な要員確保および、教育・訓練の充実を図るようJR東日本に申し入れること。



新潟県と運輸局に対して申し入れを3月8日に行いました。
 1月11日、大雪で15時間あまり帯織〜東光寺駅間で444Mが立ち往生しました。そのことについて3点にわたって申し入れを行いました。
 申し入れ団体は「暮らしと地域を支える鉄道の充実をめざす新潟県連絡会」です。国労からは加藤委員長、藤井副委員長が出席し現場実態の報告や原因について訴えました。



出席者は県労連佐藤議長、今井事務局長、建交労富井書記長、上越市から前地本執行委員長・上石さん、糸魚川市からも出席されました。

○新潟県の回答

(1) 1月12日、国交省からJR東日本に対し再発防止策の社内周知の徹底を確実に実施することを指導した。

1月15日、県民の安全を確保するようJR新潟支社へ要請した。

1月19日、JR新潟支社は記者会見し1月22日、検証について報告があった。

○新潟県としてはJR新潟支社に対して申し入れだけできない。
 JR新潟支社からの報告は2月20日、検証について報道どおりあった。投排雪車両は性能が良いと聞いている。

○再発防止にカメラを設置した。

○運行するための除雪に時間がなかった。
 ○列車が本線で止まった場合は、その対応について自治体とJRとの連携で対応する。

(2) 安全・安定輸送の確保について県として要請した。

(3) 会社の体制について指導はできない。安全・安定輸送について要請した。



●新潟県に対し、JR新潟支社へ伝え、その結果を報告すること。JR新潟支社は利用者、住民からの要望などの申し入れを拒否している。
 ●現場の実態、要員や技術力低下の問題について、JR新潟支社へ伝えることを訴えた。



○運輸局の回答

(1) 1月31日、本省からも対策として指示があった。JR東日本からの報告。
対策として4点

●除雪対策・体制について列車運行再開と並行して乗客の救助を取り組む。

●自治体からの協力を得ること。
●整備局へ連絡する。情報環境など改善する。

●県として自衛隊の派遣も検討する。

(2) 北陸地方は大雪の影響で運休した。安全・安定した輸送の確保。除雪の改善。今後について公共交通として安全・安定輸送など指導。

(3) 本線だけでなくホーム、踏切

を除雪し確保する。
要員を確保する。除雪体制をしっかりとする。除雪車両の技術指導。



○運輸局が JR新潟支社へ指導

カメラの設置と 昼間も体制を取る

●JR新潟支社の除雪体制について

1月11日、夜間の除雪について出動体制を取っていた。降雪量が少ないと判断し体制がつけられなかった。対策として降雪量に対しての除雪について、カメラを3台設置し越後線を含めると全部で5台設置した。今まで夜間だけだったが、昼間も体制を取っていく。

退行運転・訓練する

●退行運転・短時間で救済する。退行運転について訓練する。踏切などの問題があるが退行運転で乗客を救済する。

●駅間で停車した場合は短時間で乗客を救済、対応する。

●大雪は雪害か？判断についてコメントできない。除雪のタイミングを検討していく。

●退行運転は駄目だと考えていない。乗客を短時間で救済する。安全確保について指導する。



●運輸局・県・JRで大雪対策について協議するシステムをつくる。「ときめき」・「北急」を含めてのシステムをつくる。連絡体制を充実させる。

○この申し入れについて、運輸局からJR新潟支社へ要請や指導をし、その後、運輸局との交渉する場をつくることを再度、訴えました。

編集後記

1月11日、444Mの問題について新潟県と運輸局に申し入れを行いました。

地本では緊急申し入れ・申3号を1月に行いましたが、まだ交渉はしていません。本来なら支社との交渉が終わってから、新潟県・運輸局へ申し入れを取り組みたかったです。



今年の冬は大雪でした。新潟市は1月11日、大雪で80センチの降雪でした。

新潟市全体で、除雪費は過去最高で50億円だったそうです。

しかし、今年はその2倍の100億円になりました。

新潟市内の除雪体制は全8区で除雪車は1000台稼働しています。

除雪車が出動し作業をすると、1日の除雪費は、4億6千万円かかるそうです。



第89回メーデー



5月1日 県民会館

○今年のメーデーも統一メーデー開催が実現しました。多くの組合員・退職者組合の方々、参加をお願いします。

